



吾妻遊

秋保  
社記

武藏野此處きくはくきあゆ路を  
人乃いひぬるあしひり今さうそく  
をりゆ路とのやうあるは四里の方  
しそ又そののすゝもあめれや路のき  
されよあはれをさあよとらぬ仙家  
乃ぬあつるをさあよより俄はけ葉  
うら所あつるをさあよよりぬるは

むふのくさるはたしとをわはた毛駿博北  
そのつと不信しと四海波静あるは代り  
あはを世おろしと武城乃是丸  
またりてあはととささいひかり如既小  
日阿ははしと八至八卷は多命をさるりある  
はあれうきはとれはあさしとさくを  
おろりぬ撰ちりて譯仗は投しと産丸  
よよせぬあましく撰者乃名におあこさ

離明輪工のともかろくはあつて記つは  
とらんふあまきとほふやいとわは仙靈公  
乃法嫩よあひひあまを死弱は鞭打て  
園北東あめらとぬれはらりあへん  
昔書あはとあつて侍る

寛政二戌と  
初春  
奇  
金鶏  
るん



身乃船下流之舟



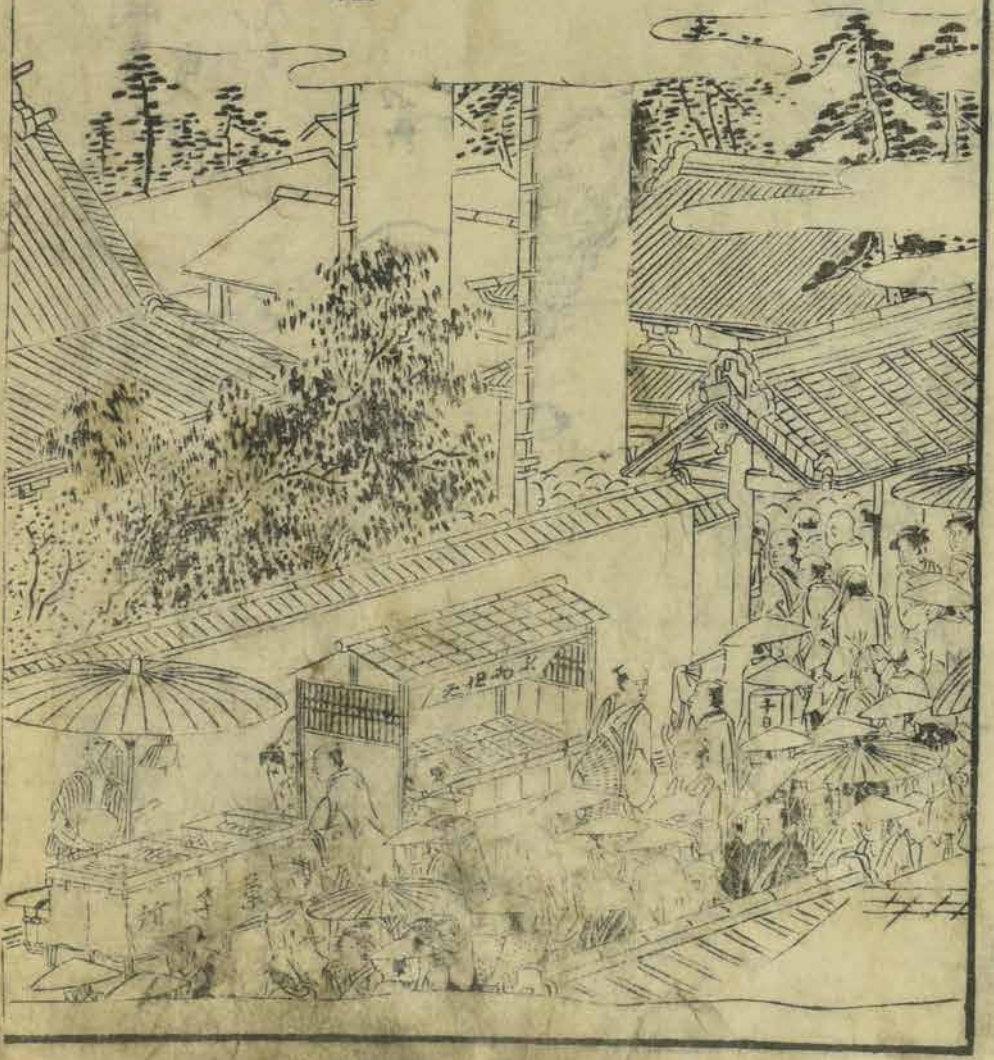
三谷壩  
相一葉  
あー系子  
まろく  
おま  
さん  
ま  
松  
北



上ノ三

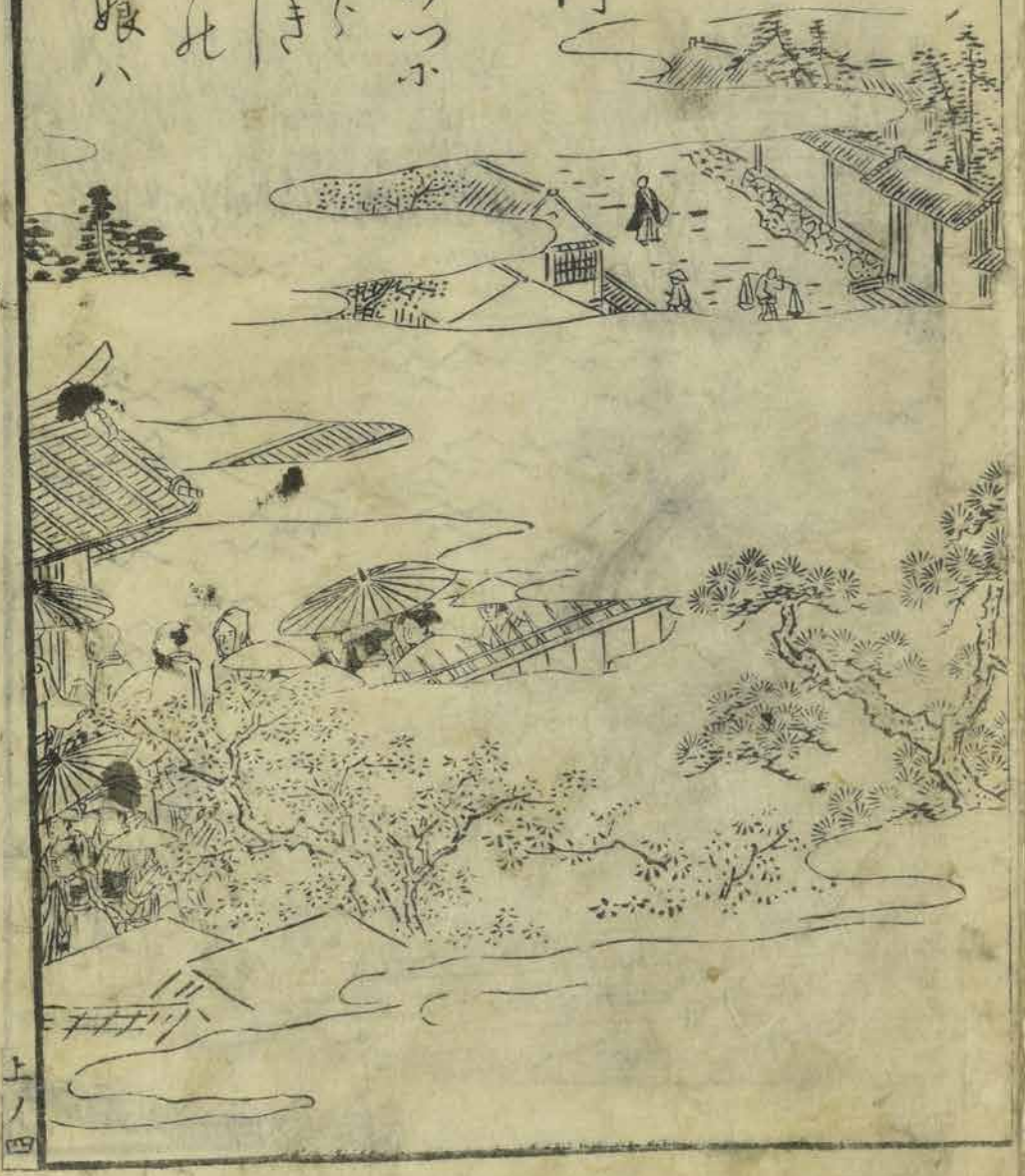
奇之羅  
金雞

十三下  
乃  
室北  
左中  
嘆



麴町  
昆  
門

昆  
梅北  
寺娘八





あ  
つ  
あ  
花の  
名  
そ



梅屋  
富士行  
あ  
ま  
江戸此  
きり  
乃  
市門ハ









奇座  
金雞

二十  
二  
三  
四  
五

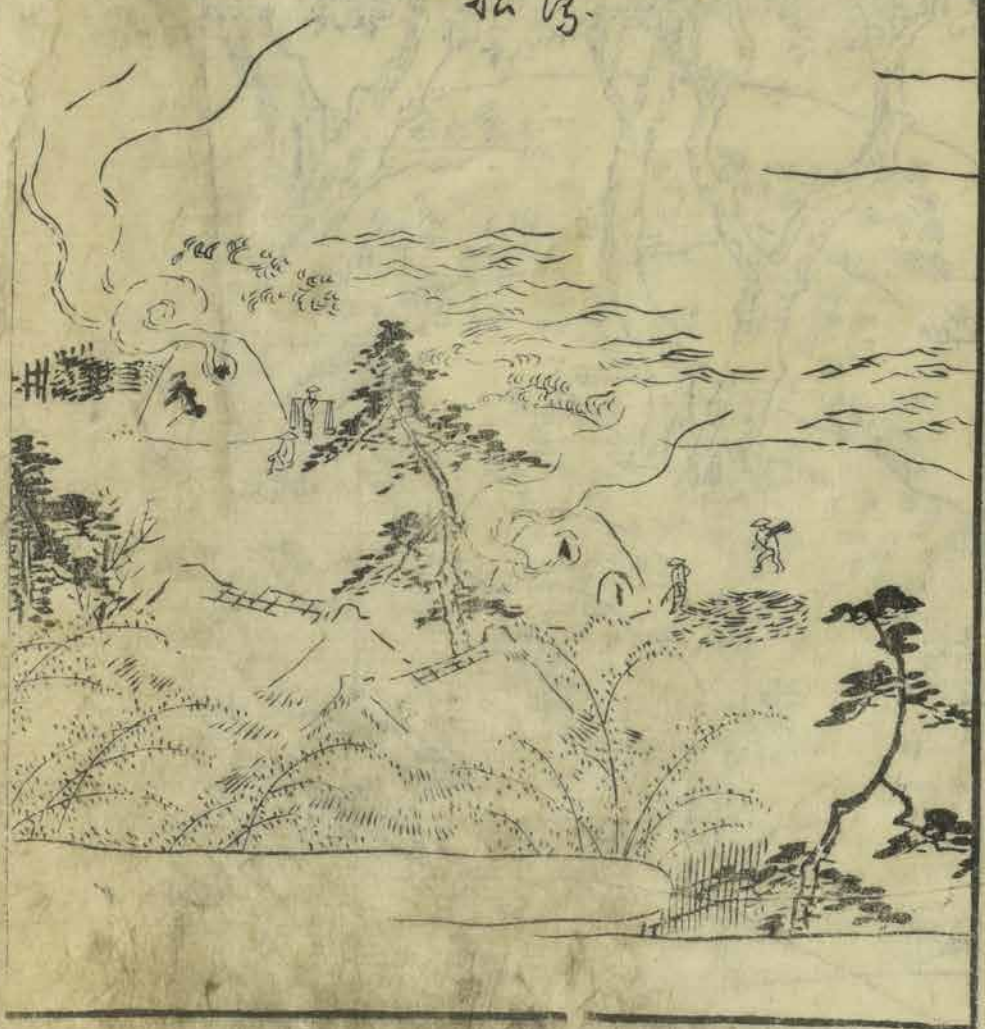


高  
輪  
乃  
九  
乃  
十八  
の  
言  
物  
の



中  
一

今戸  
 奇々  
 金雞  
 一  
 小  
 船



今戸  
 奇々  
 金雞  
 一  
 小





百和亭  
のまの  
と



柳原  
のまの  
と



人々  
ま  
碎和



雑司言  
金雞  
風車  
か  
酒子  
之  
志  
く  
子



遊女  
花扇



えんげう



牛  
内前  
物  
又子  
牛此  
赤前の  
名  
角  
此  
水





愛宕山

奇く羅

金雞

名ふ言記

あふ言記

山々

のあり

大石河

千

ら〜と

さゆ



とあつたの

人ハ

小多

不

動

言

目

此

坂を

お合

お合

棚上

牡丹餅



羅月庵  
金松

あまの  
あまの  
あまの  
あまの  
あまの  
あまの  
あまの  
あまの



隅田川  
都立  
子  
子



下二





神乃以  
志乃  
一



过  
子  
子  
子  
子

神乃大  
金籠



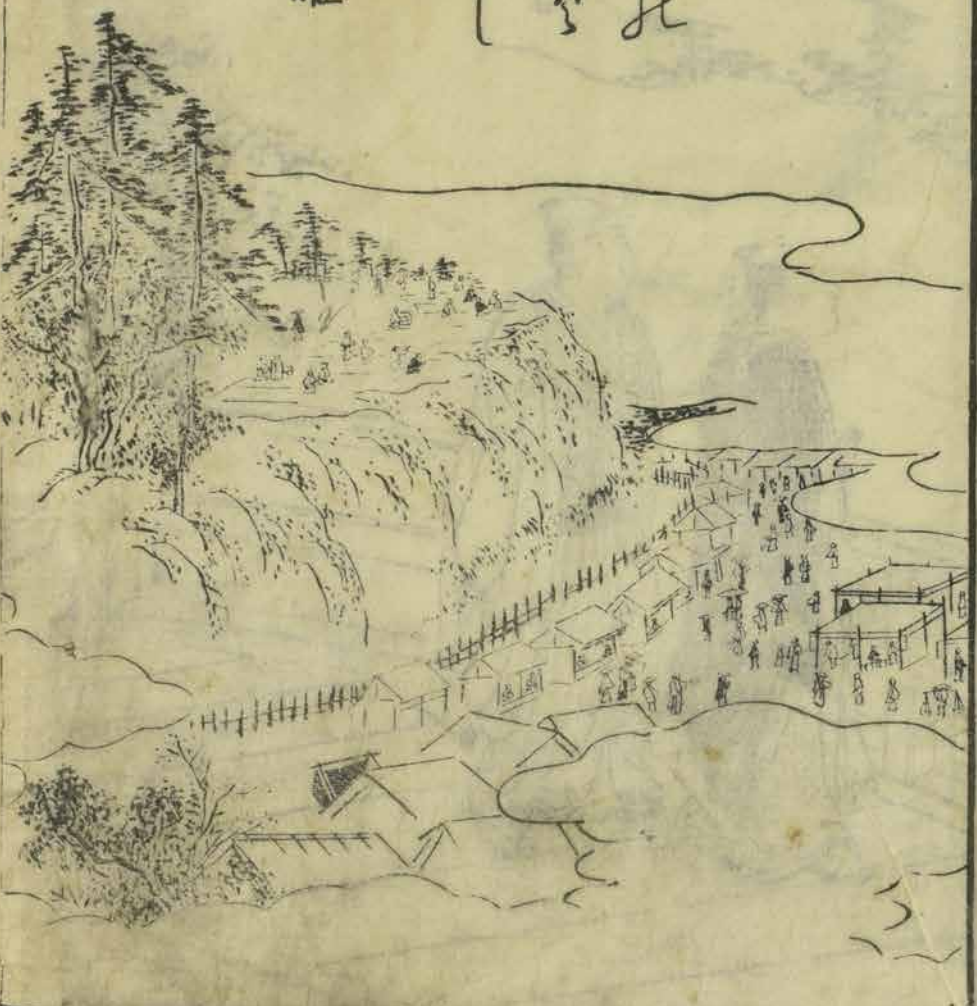
金羅

山下

北

遠

系



上野  
山下

美

年北

系下

乃

鴻

吉

ハ



奇の所  
金雞

ふ  
の  
根



業  
平  
橋

あ  
の  
世  
に

あり  
初  
め  
橋  
に

あ  
の  
世  
に

あ  
の  
世  
に





待乳山  
田子浦人

少くともこれ

百

ちりりと

笑ふ

も

美を

よろら

ら

舟子

いのち

ん

ん



